



校長室

INFORMATION

ぎおんばら

下野市立祇園小学校
校長室通信
平成29年1月号

「走って とんで ねて 食べて 元気いっぱい
ぎおんの子」



「新しき 年のはじめの 初春の 今日降る雪の いや重け吉事」

大伴家持（万葉集）

遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた平成29年の新春をお迎えのことと存じます。あらためて、昨年中の保護者の方々のご協力・ご支援に感謝申し上げます。この歌のように、良いことがどんどん積もることを願っています。

さて、本校では現在、児童のより一層の学力向上に向けて、「書くこと」の指導に力を入れています。これは、単に「書く」ということを目的にしたものではなく、自分の考えを書く活動と、言葉で人に伝える「説明」「話し合い」などの活動を相互に関連づけ、やがては思考力の向上に結びつけていこうとするものです。「書く」ことによるメリットはたくさんあります。よく考えなければ書けませんし、書くことによって自分の考えも整理され、深まります。メモをとるにも、人の話をよく聞かなければ書けません。ただ、「書く」ことは、面倒だし、苦痛に感じる人もいるでしょう。その分、頭がとてもアクティブに活動しているのです。

しかし残念ながら最近では、情報化が急速に進み「書く」こと自体が少なくなってしまうようになりました。仕事もPCで済みますし、他との連絡もSNSやメールで殆ど事足りてしまいます。年賀状を出す人もめっきり減ってしまっているそうです。その年賀状も、昔ははがきではなく、書状で出していたようです。今のような形式になったのは、明治になって郵便制度が出来てからだそうです。昔の人は、今のように便利ではなかった分、よく考えながら、一つ一つ心を込めて文面をしたためていたのでしょうか。

本校の子どもたちを、情報化社会と上手く折り合いをつけながら、「書く」ことのメリットを最大に活かし、子どもたちの「頭」と「心」の成長と深化を目指していくため、教職員一同誠心誠意努力して参ります。今年もよろしくお願いたします。



○ 校長室で一緒に給食を！

今年度も1月16日から6年生との会食（メモリー給食）を行っています。各クラスとも4名～5名ずつ班になり、交替で一緒に給食を食べています。卒業前に6年生全員と給食を共にし、児童達の中学校生活への期待と夢や、学級での様子などを聞いて、一人一人との思い出を作りたいと思っております。班によっては、思わぬ話が飛び出すこともあり、とても楽しいひとときを過ごさせてもらっています。思い出作りも順調なようです。話をしながら、「しっかりしてきたなあ」「成長したな」と感じることもたくさんあります。残り少ない小学校生活を、悔いの無いように送ろうという様子も十分に伝わってきました。ご家庭でのご指導のたまものかと存じます。改めて感謝申し上げます。



○ 下都賀地区理科研究発表会が行われました。

1月13日下都賀地区理科研究発表会が行われました。本校からは、4年 荻原雄大朗さんの「ぼくは貝の夢を見る」が下野市の代表に選ばれました。本を読んで興味を持ったそうで、貝の採取場所から、環境や生態系にせまる調査でした。根気強く調べ、ていねいにまとめてあり、発表の仕方もわかりやすくとても上手でした。これからも探求する心を忘れず、次につなげて欲しいと思います。来年はどんな研究・調査をしてくれるのかとても楽しみです。



○ 今年度最後のプレイタイムがありました。みんな仲良く遊びました！

月日が経つのは早いもので、もう縦割り班で遊ぶプレイタイムも最終回となってしまいました。6年生と遊べるのもこれが最後です。6年生は、さすが最上級生です。時間の最後まで下級生を気遣い、楽しい時間を演出してくれました。下級生は、6年生が大好きで、とても頼りにしているようでした。楽しい時間が過ぎるのはあっという間で、最後は互いに名残を惜しんでいました。



○平成28年度「はがきでコミュニケーション」応募作品が、見事全国最優秀賞 日本郵便社長賞 を受賞しました！！

本校2年生の森下岳飛さんが応募した、日本郵便株式会社で行っている、「はがきでコミュニケーション」「大切な相手」を思い浮かべて、伝えたい気持ちを書いてお便りで交換しよう”で「大切な相手＝おばあさん」とのお便り交換した葉書が見事、「全国最優秀賞 日本郵便社長賞」を受賞しました。この賞は、手紙のやりとりを通じて、子どもたちの伝える力やコミュニケーション力を育むことを目的として行われているものです。



本校でも、「書く」ということを大切にして教育活動を展開していますが、文字によるやりとりの温かさ、言葉の交流の素晴らしさ、大切さを改めて感じました。森下さんは、昨年もブロック別優秀賞を受賞していますが、今年度はそれよりもさらに素晴らしい賞でした。

森下さんがおばあちゃんに葉書をおくった時の気持ちと、葉書もらった時の気持ちを記したものを紹介します。私はこれを読んだとき、とても心がほかほかしました。

はがきをおくった時の気持ち

ぼくは、おばあちゃんとおばあちゃんの家のにわが大スキです。なぜかと言うと、おばあちゃんがたいせつにそだてているお花や木には、たくさんのきれいなチョウがあつまってくるからです。なかでも、おばあちゃんが見つけてくれたアゲハチョウのよう虫がだんだん大きくなっていくのを大スキなおばあちゃんとするのがとてもたのしみでした。大きくなったよう虫がサナギになり、おばあちゃんといっしょにチョウのうかを見たいと言う願いをこめて、この手紙を書きました。

はがきをもらった時の気持ち

ぼくは、おばあちゃんからのお手紙をもらった時、とてもうれしかったです。なぜなら、おばあちゃんのお手紙には、夏休みにおばあちゃんといっしょにやったスイカわりや花火の絵が書かれていたからです。ぼくは、この手紙でとてもたのしい気持ちになれたので、こんどは、ぼくがまた、おばあちゃんへお手紙を書いて、おばあちゃんにたのしい気持ちになってもらいたいと思いました。これからもずっとおばあちゃんとお手紙のやりとりをつづけていきたいです。

○今年度最後の音楽集会有りました。



1月12日(木)1年生と6年生の音楽発表会が行われました。これで、今年度は全学年の発表が終わりました。1年生は1年生らしくとても元気よく可愛らしい演奏でした。6年生はさすがが最上級生の貫禄のある演奏でした。音楽集会は毎年、どんな演奏を聴かせてもらえるのか楽しみにしています。来年の音楽集会では、より表現力豊かな演奏が聴けるよう期待しています。



○給食週間です！！

1月16日(月)から1月20日(金)まで、給食週間です。この週は、献立も一ひねりされたものになっています。16日は「給食始まり献立」でおにぎりや鮭の塩焼きを、17日は「まるごと栃木県献立」と称し、那須塩原のスープ焼きそばが提供されました。これ以外にも毎年恒例の給食委員会イベントとして、「豆つまみ大会」が行われました。これは、お箸の正しい持ち方を推奨するために行っているものです。箸を器用にあやつれる子どもたちもたくさん見られるようになってきました。楽しくお箸の使い方を学べる良い機会だと思っています。先生方もチャレンジしていますが、果たして結果は！？

また、19日、20日は調理員さんとの会食を行いました。毎日おいしい給食を作ってください調理員の方々と共に給食を食べ、感謝の気持ちを表すことができました。本当にいつも安全でおいしい給食ありがとうございます。これからも、よろしく願います。



いくつつまめるかな？



いつもありがとうございます！



スープ焼きそばです



○自治医大看護学部の学生さんたちが来校しました。

1月19日、20日の2日間、12名の看護学部生が公衆衛生看護実習のため来校しました。各クラスにそれぞれ別れて授業の様子を見たり、休み時間に遊んだりしました。最初のうちは緊張している様子がうかがえましたが、みんな、看護という職について真剣に考え、前向きに取り組んでいる将来がとても楽しみな学生さん達でした。

